

発行日 2023年3月23日 (木)

八王子学園八王子中学校・高校学校 広報誌
〒193-0931 東京都八王子市台町4-35-1
TEL. 042-623-3461(代) FAX.042-626-5646URL: <http://www.hachioji.ed.jp>
E-mail: info@hachioji.ed.jp

鈴懸

【Suzukake】

卒業生のみなさんへ

学校長
小山 貢

貢



八王子学園八王子中学校・高等学校を卒業される皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様の喜びもさぞかしかと存じます。在校中は様々なご協力ありがとうございました。教職員を代表し感謝申し上げます。

八王子中学校からだ6年間、八王子高校からだ3年間の在籍ですが、卒業生の皆さんや保護者の方にとって八王子学園での学校生活はどのようなものでしたでしょうか。

皆さんの記憶に残っているのは、思い出したくもないコロナ禍での4月5月の中学校、高校の休校。そして学校生活でのコロナ対策ではないでしょうか。残念ながら現在でも登校時には、体温測定を行っていて、なかなか現在でもコロナ対策を脱することはできません。

校長として、コロナ禍でも必ず実施しようと考えていたのは、中学校・高等学校の行事でした。しかし、それもなかなか叶わない3年間でした。

中学3年生の皆さんは、中学1年次には、コロナの影響で人生の記念日でもある入学式が本来の形では実施できませんでした。また、運動会や合唱コンクールも中止になりました。やっと中学2年次になり、鎌倉への遠足やエスフォルタアリーナで実施された八王子中学校運動会。広島・奈良・京都への修学旅行も実施され、広島への原爆投下の悲惨さを目の当たりにし平和の尊さを再認識したかと思えます。また、奈良・京都への訪問では、歴史の奥深さにも触れることができました。

しかし、中学生活でのメイン行事とも言えるオーストラリア語学研修旅行は、現地の事情を判断し残念ながら中止となりました。しかし、その後オンライン通話を利用した現地との交流で語学研修の経験を積むことができました。

八王子中学校を卒業する皆さんのほとんどは、八王子高等学校へ進学します。是非、八王子中学校で学んだことを八王子高等学校で花開かせてください。内進生に期待しています。

高校では、6月の体育祭、9月の球技大会、学園祭は高校生の3大イベントです。すべてを生徒会が企画し細部まで準備する、本校が誇る生徒のための生徒の手による行事です。その中では、各クラスが盛り上がり、団結したり、また意見がぶつかり合ったりと色々な面で皆さんを自立へと導く行事だったかと思えます。高校2年の秋の沖縄修学旅行では、沖縄の不幸な歴史を学ぶとともに、現在でもいろいろな問題を抱えている沖縄の姿を直視することができたと思えます。高校3年生の八学祭では、模擬店や色々なパフォーマンスで盛り上がりました。また、部活でも様々な貴重な経験を積んだ卒業生も多いと思えます。

皆さんは、大学・短大・専門学校または来年再起を期す卒業生と違いがあれど、新たな世界に旅立って行く期待で胸を膨らませていることと思えます。

しかし、残念ながら皆さんの前には様々な問題や課題が横たわっています。コロナ感染、少子高齢化、地球温暖化等挙げたらきりが無いほどの問題がこの地球には山積しています。そして、それらは地球規模の問題から身の回りの問題まで適切な判断を下し、解決していかなければならないものばかりです。

物事を瞬時に見極め、適切な判断を下す判断力のある人には、特徴や習慣があると言われていています。判断力は生まれ持ったの才能ではなく、成長していく過程で後天的に身に付けていくものです。多岐にわたる本を読んだり、素晴らしい判断能力のある人から、物事の見極め方や判断の根拠を探り出すことです。その様な体験から、得ることができるのが自信と鋭い分析能力です。

混んとしたこの現代社会で、皆さんにはしっかりと自分の価値観を持ち、判断力を養い、八王子学園八王子高等学校を卒業した後のステージで更に活躍して欲しいと願っています。

そして私は、今年度をもちまして校長職を去ることになりました。1979年(昭和54)4月に大学を卒業と同時に八王子高等学校(現在の八王子学園八王子中学校・高等学校)に就職しました。当時は、やんちゃな気質を持った生徒が多く、通勤途中で学校へバイクで登校する生徒を見つけ、追いかけていました。生徒が廊下に正座をして生活指導の先生に怒られているなどは、日常茶飯事でした。第二次ベビーブーム世代の入学が始まり、校舎も次々と立派になり、大学進学だけでなく芸術の才能を伸ばすコースも設置され、部活動の成果もあがり文武両道の本校は、三多摩でも有数の学園となりました。これは教職員、生徒、皆さんのおかげです。これからも「人格を尊重しよう」「平和を心につちかおう」の学園モットーを大切にしていける学園であって欲しいと感慨深く思っています。

昔話、自慢話、愚痴話が多くなると年寄りの証拠だそうだ。近頃はそんなことばかり。ああ、もう四十年近く経ったんだ、なんか早いなあ、もう終わりかあ、振り返ると、ああしとけばよかったとか、こっちの道に進んでおけばよかったとか後悔するけど。まあ後悔は気づきの始まりっていうし、いろいろといい経験をさせてもらったし、思い返すと悪くはない年月だったかな。ということで進んできた道が正解。

そうそう一番の後悔は「こぼちゃん（故小林英樹先生）」ともっと話しておけばよかった。この場に、一緒に退く場にはいないなんて・・・。幼少のみぎり親から書道とピアノどちらか習わしてやる（偉そうに）、と言われ、ピアノは女の子のやるものだ馬鹿な思い込みから書道を選んだ。ちなみに親曰く、「歌のうまいのと字のうまいのは出世する」とのこと（絶対ウソ、いいように使われるだけ）からだった。偶然かどうかわからないが師匠は、中学校時代からの金丸素洞先生、大学時代からの金子卓義先生と有名どころに恵まれた（その先生方には不義理なことをしたが）。それで中学のころから教師になろうと思って、授業は書道と書いたが国語ばかり、やっと担当できた、と思ったらもう終わり。思っていたのとは大違い。世の中思い通りにうまくはいかないものだ。ただ、本校はもちろん、ほぼ全国の学校は書道というものに理解がない。ただ文字が書かれていればよい、印刷でいい、と思われている方々ばかりだ。昔は「読み書きそろばん」と教育の基本だと思っていたけど、もうすたれてしまったのかな。美術には美大、音楽には音大、でも、書道には書大はないからかなあ。筑波大や各教育大なんかにはあるのに。まあ、いいか。

もう少し語ると、国語という教科については学生時代以上に就職してから勉強した。予備校に通ったり、ビデオなんかもいろいろ見たりした。自分の形というものができるまで何年もかかった気がする。部活動もお金も時間もかかったが、まあ関東大会に行ったし、ベスト8にも入った（ほんの一瞬だったが）からよしとしよう。勤務したてのころ校務分掌は何年かですべて経験させられた。どの分掌も理解するためらしい。部活の顧問もこの部の顧問がいらないから選べ、というものだった。それに比べると今は好きなことができよ職場になったものだ。よく言えば、適材適所か（いいなあ）。でも、教員は目配り、気配り、心配りで視野を広げる意味でも、若いうちにいろいろやっておくべきだなと感じる。

阪神も岡田さんが球界最年長で監督に返り咲き、藤波選手がメジャーに挑戦。俺も老体に鞭打って何かに挑戦しようかな、と思う。

最後にお世話になった方々に、そしてずっとサポートしてくれた妻に感謝を込めお礼を言いたい、ありがとう。



退職される先生 お世話になりました!

退職インタビュー 武田道太郎（地歴科）

※武田道太郎先生（以下：T）からは、本校の同期で親交の深い英語科の大溝先生（以下：O）からのインタビュー形式でお届けします。



O: それでは早速最初の質問です！武田先生は本校ご卒業のOB teacherですが、先生が通われていた頃のハチガクはどんな雰囲気、先生はどのような生徒でしたか？

T: 昭和50年本校入学、担任は仁藤彰先生です。クラスメイトに新井雅之事務長、鈴木正勇本学弁護士がおります。新井さんとは竹馬の友で、夏休みに自宅を訪ねてくれたことは今でも思い出になっています。この頃の学校は木造で、暖房はダルマストーブ、火付け役は日直の仕事でした（今ではありえない）。3年間柔道部に所属し、かなり鍛えられました。合宿は学校で1週間ありました。

O: 先生が教員になろうと思ったきっかけは何ですか？

T: 世界史担当の恩師の影響大です。今日まで勤められたことに感謝申し上げます。

O: 武田先生が特に意識された、地歴科教員としての教育理念やポリシーはありましたか？

T: 大学卒業後、非常勤講師として3年勤め、その後専任として今日まで37年間奉職しました。ポリシーですか？そうですね。今のウクライナ戦争みたいなことが世界で起こらないようにするにはどうしたら良いのか、生徒と考えてみたい。簡単に言うと戦争と平和みたいなことかもしれません。

O: 武田先生は同期や同世代の先生方との旅行など、教員の仕事以外でのお付き合いなどなさっていましたか？

T: 30代のころは週2のペースで飲み会をしてました。コミュニケーションの大事な場でした。最後は決まって激論。話題は教科、学校のことなど様々。今日は自粛ムードでできないのは残念ですね。

O: 実はすごいゾ、武田先生の巻。実は先生はすごい人なんです。私の記憶が確かなら以下の6点が実に鮮明に思い出されます。①世界史授業公開を積極的に随時開催して、教員との意見交換をなさっていました。この教育活動は斎藤先生が実に熱心で、我々も影響を受けました。②生徒のためになりそうな新聞の切り抜き記事を頻りに教室に掲示して、教育環境を整えるご指導も素敵でした。③休み時間中、自分のクラス以外でも消灯されていない教室の電気を消すきめ細やかさ、目配り！感動でした。

T: 今もやっていますよ。スライド授業なので消灯して、教室は暗いですが明るい授業を心がけました。

O: ④バドミントン部念願の関東大会初出場！！

T: 学業と部活の両立。教員も同じです。

O: ⑤修学旅行での生徒への厳しくも愛情あふれた気配り指導！

T: 生活指導（現生徒指導）をやりました。修学旅行で大溝Tと歩いた長崎の街、楽しかったな（`艸`）

O: ⑥以前の田中勝事務長から「5年間無遅刻無欠勤無早退、無傷は武田道太郎と大溝だけだ！」とお褒めの言葉を頂戴しました。我々は真面目でしたね！

T: 大溝Tの早朝出勤、早朝予習には脱帽です（今も）。

O: では懐かしいネタにまつわる話はそろそろ終えて。高校では特選コースも開設され、付属中学校も12期生を迎えます。伸び行くハチガクに通う生徒たちに、大激励メッセージをお願い致します。

T: 本校は10年周期で躍進を続けてきましたね。5年後は創立100周年。奉職したころに元号が昭和から平成にかわり、そして令和を迎えた今、三多摩随一の学校、いや、東京都随一、いや、日本随一の生徒思いの学校として更なる躍進を祈念いたします。そして200周年へ！

（大溝Tへ。インタビューthanks very muchでした。大溝Tと過ごした日々は宝物になっています。今後も健康に留意してさらなる活躍を大期待いたします）



2022年度
中高3ヶ年 皆勤者・精勤者

【2023年3月15日現在】

◆ 中学 皆勤者 ◆

◆ 中学 精勤者 ◆

- | | |
|--|--|
| 1組 小林 力 庄村 倫輝
伊藤 香菜子 塩野 結和 | 1組 荒川 侑聖 西田 篤志
福島 拓人 升方 啓聖
三田 瀧馬 |
| 2組 前田 知樹 | 2組 井上 晃徳 新谷 怜平
世羅 誠泰 大場 紗季
森 彩 |
| 3組 板橋 佑太 高橋 歩睦
秋元 柚乃 岡田 恵里佳
澤海 玲 田中 杏音 | 3組 松岡 加琉良 |

■ 高校 皆勤者 ■

■ 高校 精勤者 ■

- | | |
|---|--|
| 1組 野村 颯太 8組 木佐 貫 杏
岡村 知奏 山村 倫代 | 1組 佐藤 翠紀 |
| 2組 郡山 拓人 9組 木下 裕晴
神林 那奈 白井 夏美
木原 凜 小栗 千佳
小嶋 小雪 松田 悠佳
滝澤 みづき 竹田 慶彦
堀田 凪乃 松原 美尋
吉濱 彩佳 | 2組 内田 健斗 |
| 3組 葛野 智哉 10組 飯田 光達
三澤 陽登 恩曾 敬展
小野 寺 真江 阪 啓輝
吉良 舞衣 橋本 真拓
齊藤 温 今井 さくら
坂井 来実 黒川 茉優
4組 井上 諒太 五味 知優
天尾 菜々夏 田中 真優
佐藤 麗紋 土屋 結衣
杉本 アニカ 野仲 伶那
中里 真咲 室田 桃伽
原 由里香 | 3組 村田 ひまり
峰尾 太陽
桑原 由衣 |
| 5組 伊原 里紗子 11組 小佐々 千寿
尾形 千夏 筒井 杏奈
西寄 愛 宮野 愛葉
平井 凜 山元 真奈
不破 美咲 田中 詩音 | 4組 小宮 嘉朗
小橋 理子
南角 優季
松葉 かのん |
| 6組 森山 遼 12組 北浦 拓実
石井 美帆 黄川田 未菜
久保田 詩織 宇佐美 和秀
日下部 宙 | 5組 永吉 祐太
山本 颯 |
| 7組 和島 琉羽 伊東 桃奈
小池 桃寧 13組 北見 凜太郎
佐藤 澄佳 星野 翔太
星野 聖矢
諸星 真優
坂野 碧衣 | 6組 生田 島 朋哉
桑嶋 翔琉
園田 大智
小嶋 奏 |
| | 7組 小松 晴起
瀧本 隆士 |
| | 8組 大沼 美紗樹
桑原 穂奏
宮島 乙嘉 |
| | 9組 浅井 萌々子 |
| | 10組 杉村 二太
黒沢 麻衣
鈴木 南
竹田 結奈
田中 凜
西村 蘭
吉澤 亜衣 |
| | 11組 関田 結穂 |
| | 13組 栗田 光
神山 雷羅
久保田 聖也
倉内 希歩
竹内 碧斗
並木 棟吾
箸方 尚樹
八重 沢 連
諫山 優空
江戸 あい
澤田 花音
野田 涼風
本郷 埜乃 |

2022年度
卒業生 各種表彰

◆ 中学

- | | | |
|-------------------|----|--------|
| 【八王子学園賞】 | 3組 | 板橋 佑太 |
| 【日本私立中学高等学校連合会表彰】 | 3組 | 秋元 柚乃 |
| 【体育優良生徒】 | 1組 | 伊藤 香菜子 |
| | 2組 | 和田 純之介 |
| 【功労賞】 | | |
| コンピュータ科学部 | 1組 | 岡田 徳空 |
| 男子サッカー部 | 1組 | 玉木 大和 |
| 茶道部 | 1組 | 三待 弥香 |
| 吹奏楽部 | 2組 | 市川 陽菜 |
| ダンス部 | 1組 | 齋藤 凜杏 |
| 男子硬式テニス部 | 1組 | 加藤 誠也 |
| 女子硬式テニス部 | 3組 | 築地 柑奈 |
| 男子バスケ部 | 3組 | 中田 伊織 |
| 女子バスケ部 | 2組 | 尚 禹彤 |
| 男子バレエ部 | 2組 | 世羅 誠泰 |
| 女子バレエ部 | 1組 | 小田 青依 |
| 美術部 | 3組 | 嘉藤 友里 |
| マスコミ研究部 | 3組 | 下野 彰太 |
| 理科部 | 3組 | 嘉藤 友里 |
| 陸上競技部 | 1組 | 庄村 倫輝 |

■ 高校

- | | | |
|----------------------|-----|--------|
| 【八王子学園賞】 | 11組 | 鳥住 真希 |
| 【東京都知事賞】 | 1組 | 土山 実希 |
| 【東京私立中学高等学校協会表彰】 | 13組 | 成嶋 義徳 |
| 【東京都私学財団賞】 | 4組 | 小橋 理子 |
| 奨励賞 | 13組 | 岡村 梨香 |
| 文化・スポーツ活動賞 | 9組 | 児玉 みくる |
| 奉仕活動賞 | 2組 | 木原 凜 |
| 【日本私立中学高等学校連合会表彰】 | 9組 | 宮田 稜子 |
| 【体育優良生徒】 | 10組 | 飯田 光達 |
| 【文化活動優良生徒】 | 8組 | 山村 倫代 |
| 【体育優秀生徒】 | 12組 | 猪俣 弥夢 |
| | 12組 | 管野 希一 |
| | 13組 | 本郷 埜乃 |
| 【東京都高等学校体育連盟 優秀選手】 | | |
| (水泳) | 10組 | 飯田 光達 |
| | 13組 | 成嶋 義徳 |
| | 13組 | 岡村 梨香 |
| (男子バスケットボール) | 11組 | 吉田 叶貴 |
| (女子バスケットボール) | 11組 | 安岡 ひなた |
| (柔道) | 13組 | 杉山 琢飛 |
| 【東京都高等学校野球連盟 優秀選手】 | 13組 | 市橋 優大 |
| 【特別優秀選手賞(東京都陸上競技協会)】 | 9組 | 宮田 稜子 |
| | 13組 | 片山 大地 |
| 【東京都吹奏楽連盟賞】 | 3組 | 中山 祥大 |
| 【東京都青少年赤十字功労表彰】 | 11組 | 土師 千怜 |
| 【高校生新聞社賞】 | 1組 | 中澤 雄太 |
| 週番幹部生徒 | 1組 | 野村 颯太 |
| | 3組 | 大川 宗一郎 |
| | 3組 | 松田 創志 |
| | 3組 | 春原 帆花 |

1・2年生とも各学期の進路行事を予定通り行うことができました。

1年生は、1学期最初の進路ガイダンスで年間の大きな流れを確認し、文理選択が高校生活の大きな節目であることを確認しました。2学期は正しい文理選択をするための大学受験ガイダンスと文理選択ガイダンスを実施しました。3学期のガイダンスでは3年生の担任の先生から大学受験に向けての1・2年次の心構えを学び、定期考査が学力の基盤を形成することを改めて共通の認識としました。定期考査でしっかりと結果を残し、力強い学力を身に付けて2年生に進んでほしいと思います。

2年生は志望校・受験科目を決定する学年です。そのための情報提供や準備として、進路指導室の使い方・3年選択科目・国公立大学受験・推薦入試などに関する各種ガイダンスを行ってきました。また、今年度より11月に進学激励会を実施し、予備校の先生から大学受験に向けての心構えや推薦入試のいろはを学びました。学習面では、進路実現に必要な実力を養成するために、11月の河合模試や1月の英検に焦点をあてた取り組みを行ってきました。生徒たちの頑張りもあり、11月の河合模試では内進生も高入生も手ごたえを感じることができました。

1・2年生共通のイベントを新設しました。生命科学や医学部についてのガイダンスや、東京薬科大学での薬学実験体験を実施し、最前線で活躍されている大学の先生から専門的な話を聞くことができました。文理選択や学部学科選択の一助となったと思います。

コロナの影響で先行きが不透明な部分もありますが、希望の進路実現のために学園生徒一人一人が最善の努力をして欲しいと思います。

中学進路指導部では、主に学習指導とキャリア教育を中心に様々な取り組みを実施しています。学習指導は、1・2年生で学習習慣を確立することが大切です。そのため、担任の先生による提出物管理が毎日のように行われています。3年生では、「主体的な学習」が求められ、1・2年生で学んだ学習方法や定期考査の学習計画を自ら工夫し、計画を立て、取り組むよう指導しています。また、前年度に引き続き今年度も模試の対策にも力を入れ、模試で成績を伸ばすために教科担当の先生方の協力のもと、日頃から取り組むことも増えました。

キャリア教育では、主体的な進路選択のために各学年で高校・大学や職業について学んでいます。1年生は「身近な大人の職業調べ」を実施し、職業研究を行いました。2年生は「職業別講演会」で様々な職業経験者の方々から、仕事とはなにか、職業に就くために今のうちからできることはなにかなどを学びました。3年生は八王子ガイダンスを実施し、高校3年生の先輩や各分掌部長の先生方から、中学と高校の違いなど、来年度から始まる高校生活について様々なことを学びました。また、中央大学を訪問し、大学生の生の声を聴いて、「大学」がどんな場所なのか、学部の内容や大学生活等について知ることができました。

これらキャリア教育を通じて、職業選択に対する主体的な姿勢だけでなく、その前提となる今後の学習に対しても、生徒たちが積極的に取り組むようになってほしいと考えています。

中学百人一首大会



1月18日(水)に中学校百人一首大会が行われました。グループリーグ形式で各学年から2チームずつ代表を選出し、決勝大会を地上体育館で実施しました。札を取る時の緊迫感、応援するみんなの熱意や盛り上がり伝わってくる熱い大会となりました！



おめでとう!

◆代表チーム成績◆

- 【第1位】 2年3組 Eチーム 13枚
- 【第2位】 3年3組 Cチーム 12枚
- 【第3位】 3年1組 Aチーム 11枚
- 【第4位】 1年2組 Eチーム 10枚
- 【第5位】 2年3組 Bチーム 9枚
- 【第6位】 1年2組 Aチーム 8枚



中学・高校 入学試験終わる

新型コロナウイルス感染症第8波への不安が続く中、2月1日～3日には中学校入試が、10日と11日には高校入試がそれぞれ行われ、無事に終了しました。検温・消毒の徹底をはじめ、中学校入試では1教室の受験者数を20名に減らしたり、高校入試では面接を無しにしたりするなどの感染対策を施しての実施でした。また、大雪予報が出されていた10日の高校入試でしたが、前日から除雪準備や公共交通機関の乱れに対する各種の対策を講じていた本校の様子が、9日のNHKの首都圏と全国向けのニュース番組で報道されました。さらに10日朝の雪の正門付近の様子がTBSの昼の報道番組で、受験生の帰宅に備えて野球部員が通学路の除雪の応援に駆け付けた様子や、部員代表のインタビューが当日夕方のNHKの報道番組でそれぞれ紹介されました。



- 中学校入試出願者数 732名 (3日間のべ人数)
- 高校入試出願者数 10日 1247名 / 11日 522名
- 入学予定者数 中学校 約100名
高校 約600名 (内進生含む)

高校二次入試は3月4日に行われました。

ハチガクの思い出（中学3年）

MEMORIES OF SCHOOL LIFE

●中学3年1組 洲上 佳奈

あっという間だったと思う。気がついたら、八学に入學して3年。小学生の頃は中学生になることそのものが、とても先で遠いことに感じられたのに。私はこの3年間で多くのことを考えるようになった。自分の未来のこと、上手く自分の感情と向き合う方法、失ったり得たりしたもの。たまに過去を振り返って後悔したことを思い出したりもした。3年間で沢山成長できたかと聞かれると曖昧ではある。だが、いつだって私の周りには個性豊かで優しい友人がいた。困った時に手助けをしてくれる大人がいた。だから、様々な経験や挑戦ができた。フランス語にトライしたあの日も。激辛トッポギに咳き込みながらした合唱コンの練習も。初のスノボで空の一部になりかけたあの日も。何気ないような日々の全てが、今となっては3年間においての大切な過程の一つだったと思える。テスト期間に勉強に追われて寝れなかったあの子。修学旅行で鹿にスカートを食べられそうになっていたあの子。自転車通学初日で自転車を破壊した私。其々が色々な形で素敵な青春を過ごせたのではないだろうか。だからこそ私はその環境を作ってくれた、親・仲良くしてくれた友人達・気さくに話して対応して下さった先生方にとっても感謝している。大学受験に向けて高校の3年間では良い変化を齎すべく、自分自身のために自分を高めるための努力を怠らず、最高な高校生活を送りたい。そして、今よりもっと自分の視野や世界観を広げて、色々な視点を持てる人へと成長していきたい。



●中学3年2組 青木エスラバ 漣

私は、初めて八学生として登校してきた日のことが忘れられない。慣れない朝早い時間に電車に乗っていった。学校に電車に乗っていくことが夢のように感じて体がふわふわと浮きそうで、本当に飛んでいたのかもしれないと今少し思う。新品でプカプカの制服、異様にきれいに光るローファーが傷つかないようにゆっくりと歩いた。あれからもう3年が経ったのだと思うと、胸がざわめく。今では履き慣らされたローファー、少しきつい制服に少し感動している。いろいろな事が起こって、私の中でいるんな失敗と葛藤が繰り返されて、学んだことも多い。私は少し大人びただろうか？最近私の心のなかで繰り返されるこの言葉は、「卒業」とともに焦りが込められてきた。卒業、私を未知の世界へと導くその扉が迫ってきている。15年間生きてきて、私はまた3年前と同じふわふわとした気持ちでいる。扉を開けたら何が待っているのだろう。3年前とは違い、ふわふわと浮かぶきもちに引っ張られると同時に、足からおもりが吊り下げられている。未来への恐怖と期待が渦巻いて、何故か涙が出そうになる。こう感じるのには私だけなのだろうか？高校という場所に心をウズウズとさせている私はこれからも続く道のりはじめの一步を踏み出したに過ぎないのだろう。



●中学3年3組 秋元 柚乃

私の中学校生活は毎日が本当に充実したものでした。そして、その裏にある沢山の努力に気付かされた3年間でした。私達の中学校生活は休校から始まりました。だからこそ、実施できた一つ一つの行事が印象に残っています。結果を残すことができた中2の合唱コンクール、前日に授業を潰してまで話し合った運動会、初めて宿泊を伴った修学旅行、異国の文化や言語と触れ合った語学研修。色々なことがあったけど、今となってはどれも楽しい思い出です。この3年間、行動が制限されてしまうコロナ禍ではあったもののこのような多くの行事が計画、実施されました。こうして充実した学校生活を送れたのは、クラスの中心でまとめてくれる子や、私達のために行事を計画して動いてくださる先生方の努力があったからだと思います。そのように、私も自分以外のために努力ができる人になることを目標に、高校生活を有意義なものにしていきたいです。



●高校3年1組 大田 隼也

僕の6年間は振り返ればあっという間でとても楽しく、充実したものでした。まず、中学生では入学してすぐに山梨県の山中湖に連行され、5泊6日の合宿に行きました。山中湖では「良い印象を与える6つのポイント」という呪文を唱えさせられたのを覚えています。ちなみに、6つのポイント4つ目は「キビキビと行動する回数である」(だった気がします)合宿を通じてすぐにクラスの皆が仲良くなり、その後の体育祭や合宿コンクールなどの行事も皆がとても積極的に楽しかったです。また、部活のサッカーでは上手い子が多くて初の市部大会にも出場でき、楽しかったです。市部大会の最終予選のPKで勝ったときの感動は今だに忘れません。次に、高校では主に生徒会での活動が印象的です。ちょうど新型コロナウイルスが大流行していた時期での学園祭の運営は注意しなくてはならないことがとても多くて大変でしたが、やりがいもありとても良い経験になりました。八学での時間は今までの人生で一番充実していました。良き友達や先生に恵まれ、大いに成長できた6年間でした。八学に出会えたことは僕の誇りです。



●高校3年2組 滝澤 みづき

6年前の春、私は八王子学園に入学しました。環境の劇的な変化に戸惑いつつもそれ以上の期待を胸に抱いて、私の八学生活は幕を開けたのです。中学生の時、今後の人生に関わるような出来事がありました。それは、『大好き親友』と胸張ってと言える人と出会ったことです。卒業しても彼女との縁は切れないでしょう。そして高校に上がった私は生徒会執行部に入りました。活動していくなかで、楽しかっただけでなく、大変だったことや弱音を吐きそうになったことも多くありました。それでも培ってきたそれらの経験は人生の糧となりました。個性豊かな先生やクラスメイトと交流を深めながら過ごした激動の日々は、私のかけがえのない宝物です。高校卒業は、人生の大事な節目。大切な思い出として胸に刻み、わずかな不安を抱えながら新たな一歩を踏み出します。6年間、本当にありがとうございました。

ハチガクの思い出 (高校3年)

MEMORIES OF SCHOOL LIFE

●高校3年3組 園田 光太

コロナに翻弄された高校3年間だった。入学式はなく、緊急事態宣言でリモート授業になり登校と思えば分散登校になり、食事をする時は黙食と言われ、話す時はマスクをしと注意され、制限された学校生活だったが青春と呼べる物が沢山あった。修学旅行、球技大会、体育祭などだ。でも青春と呼べるのは、何気ない日常の中にある、クラスの一言でクラス中が笑顔になった瞬間や、くだらない事を全力でやったり、先生達から隠れてサッカーをして注意されたり、放課後に友達とラーメンを食べに行ったりする何気ない日常だったりする。けしてコロナに翻弄された高校生活が良かったとは思わないが、改めて日常の大切さや3組の仲間達と会い、笑い合った日々大切に気付かされた3年間だった。制限されていたが出来る範囲で学校行事をさせてくれた学校、3組の仲間達、担任の武、6年間ありがとう、そしてさようなら。



●高校3年4組 井上 諒太

3年間の思い出の中で最も印象に残っているのは八学祭です。1年生の時のお化け屋敷は事前準備も含め一番力の入ったものでした。準備期間前からベニヤ板を何枚もペンキで黒色に塗っていたのがいい思い出です。お化け屋敷では脅かす役をしており、普段では味わえない楽しさを感じました。2年生の時のカジノでは多くの人と接しました。教室内にいる人数を把握して出入りの管理をしたり、ダーツの得点説明など接客の面で良い経験をしました。3年生の唐揚げ販売では主に看板を掲げて歩き回る宣伝役をしていました。あまり時間がなかったにも関わらず外装を完成させ、当日は唐揚げを完売させることができました。他にも、休日に友人のクラスの準備の手伝いに行ったりと、とても疲れはしましたが充実した八学祭でした。

●高校3年5組 宇井 花怜

私たち3年生は、コロナの流行と高校入学が重なり多くの不安を抱きながら入学しました。初めはオンライン授業から始まり今までに経験したことのないことばかりでしたが、八学の先生方は私たちを温かく迎えてくださって嬉しかったです。クラスや部活動の友達は沢山の喜びや悲しみを一緒に分かち合い、時にはお互いを支え合い協力し合って良い関係が築けました。また学校行事は学年・クラス関係なく交流があり、生徒数が多いこともあって凄く盛り上がり楽しんでました。実施が危ぶまれた修学旅行も無事行くことができ、沖縄の良さを身をもって感じられる一生の思い出になりました。このご時世で学校行事や修学旅行を実施出来たのは先生方や生徒会の皆さんのおかげなので本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。高校生活で経験した様々なことや感謝の気持ちを忘れず、これからの大学生活に生かしていきたいです。

●高校3年7組 岩淵 真緒

私たちの代はちょうどコロナウイルスが流行り始めた時期に入学することになりました。そのため入学式が6月に、しかも分散登校によりスカスカの教室での実施でした。その時私はこれからの3年間どのような高校生活になってしまうのだろうと不安に思っていました。しかし卒業間近になった今、八王子学園での3年間を振り返ってみると私が入学した時に想像していた高校生活よりも充実したものになったと感じています。学校行事をほとんど行うことができたのも良かったですし、それは生徒だけでなく先生方が尽力してくださったからだと思います。そして行事だけでなく、普段の学校生活も楽しむことができたのは周りの友達や先生方のおかげなので感謝の気持ちでいっぱいです。八王子学園に入学して良かったと思えた3年間でした。



●高校3年8組 山村 倫代

ギター部に所属していた私は、毎日ギターに明け暮れていた。演奏できる曲が増え、友達から褒めてもらうことはとても嬉しく、友達と一緒にひたすら練習をしていた。コロナの流行は、私たちの生活に随分と規制をかけた。世間では、分散登校や修学旅行中止のニュースであふれ、私たちは「可哀そうな学校生活を過ごした世代」というレッテルを貼られた。だが、私は八学でとても楽しい毎日を送ることができた。部活はもちろん、カラオケに行ったり、居残り勉強をしたり、行事に全力を注いだりした。友達と話していたときに通りかかった先生をそのまま2時間会話を巻き込んだりもした。球技大会で先生が奢ってくくださったアイスは少し溶けていたが、とても美味しかった。そんな八学の日々は、とても楽しく楽しかった。八学生でよかった。今は支えてくださった先生方や部活などの多くの友達に感謝している。本当にありがとうございます。



●高校3年9組 上條 珠季

私たちの高校生活はwithコロナでした。入学式はもちろん無く、入学してから数ヶ月間は自宅学習で、いざ登校となっても分散登校などで思い描いていた学校生活とはかけ離れたものでした。そんな中、9月に文化祭を開催することになりました。コロナの感染防止対策として、日常から行っている手指消毒やマスク着用の徹底、更に来場者を制限するなどを講じました。文化祭当日に向けて私のクラスは室内でできるアクティブスポーツをすることとなりました。それから、準備期間に放課後友達と残って小道具作りを他愛の無い話をしながらしたことが私にとってありふれてはいるけれど、一番心に残っている思い出です。当日は私たちのクラスに足を運んで下さる方々が多くいらっやって、大盛況となりました。コロナ禍で何がなんだか分からない中、先生方や学校関係の方々が文化祭を開催すると決定して下さったことに本当に感謝しています。



●高校3年10組 小野 千鶴

たくさんの思い出がある高校生活の中で、最も強く印象に残っているのは、部活動の思い出です。朝練・昼練・放課後練と、部活動に明け暮れた毎日は、今振り返ってみると、青春そのものだったと感じます。ただ、当時の私にとっては、身体的にも精神的にもかなりしんどいものでした。悔しい思いももちろんしたし、定期的に怪我もして、何度も逃げ出したいくなりました。そんな苦しい時期を乗り越えられたのは、家族や友達など、周りの人達のおかげです。辛い時に話を聞いてくれること、励ましてくれること、応援してくれること。それがどれだけありがたいことなのかを実感しました。また、仲間と目標に向かって努力した日々も、かけがえのないものでした。勝利を掴み取ったときの喜びや感動は今でも鮮明に覚えています。部活動に限らず、今までたくさんの思い出を作ってくれた全ての人に、心から感謝をしたいと思います。



●高校3年11組 関田 結穂

入学したての頃は憧れの高校生活に大きな期待を抱きつつも、日々の勉強に部活と言った新しい生活スタイルに慣れるので精一杯でしたが、今振り返ってみると毎日が本当に充実していたなと感じます。色んなことを経験した高校生活で私が特に力を入れたのが部活動です。私が所属した陸上部は毎年インターハイに出場して結果を残す程の強豪チームで、初めはハードな練習メニューについて行くのに必死でした。高校3年間では目に見える良い結果やベスト更新には届かずたくさん悔しい思いを経験しました。その一方で、思うように結果が出なくても後悔を残さずやり切ることに、強い選手である為に必要なことなど沢山の気づきによって、選手としてさらに成長することが出来ました。楽しいことばかりではなかった3年間でしたが、友人に恵まれて、大好きな先輩、仲間、先生方に支えられて充実した高校生活を送ることが出来ました。八学で過ごした時間は忘れられない思い出です。

●高校3年12組 岡田 蒼生

八王子学園では多くの学びや経験をし、とても充実した貴重な3年間となりました。コロナの影響のため、入学式が教室のテレビでしかも6月に少人数で行われ、当時はこの先の学校生活はどうなってしまうのだろうと心配や不安で緊張していたのを今でも覚えています。そんな中でも様々工夫し多くの学校が中止していた体育祭、学園祭を3年間無事に開催し仲間と楽しい思い出を作ることができ、とても嬉しかったです。八王子学園には美術系・音楽系・アスリートコースと幅広い分野の学生が集まっているため、勉強以外の面から多くの刺激を受けることのできる素敵な場であると感じました。テレビで吹奏楽が特集され八王子学園の名が全国に広く知れ渡ったことで、学校の更なる発展がとても楽しみです！最後にコロナ禍で思い通りに行かないこともありましたが、八王子学園で楽しい高校生活を送り、かけがえのない友人と出会えたことは本当に幸せでした！

●高校3年13組 粟田 光

高校3年間を振り返ってみると本当にいろんなことがあったなと思います。1年生の頃は入学して不安もいっぱいあったけれど友達もできて、これから高校生活が始まるんだなという感じでした。1年生でやる行事は初めてのことが多くて、戸惑いもあったけどすべてが楽しかったです。特に文化祭でやった休憩所は、みんなでわいわいしながら準備して放課後とかも遅くまで残って頑張ったのはいい思い出だなと思います。他には、体育祭も印象的です。高校初めての体育祭ではサンダル飛ばしをしました。個人競技ということで観客も多くとてもプレッシャーがある中、学年で2位になったことはとても自分でも誇らしく思います。2年生では、やっぱり修学旅行が印象的です。沖縄県の方々はみんな優しく気温もあたたかくとてもいい思い出になりました。3年生ではウィンターカップがすごく印象的です。3年間バスケットボールしてきて最後の全国大会で3年間頑張った仲間と長く一緒にバスケットボールをできたことがすごく幸せでした。新型コロナウイルスとともに歩んだ3年間は悪いことばかりではなく楽しくて濃い3年間でした。

中学3年合唱コンクール



3月10日(金)、八王子市芸術文化会館 いちょうホールにて八王子中学校合唱コンクールが行われました。中学2年は学年閉鎖のため15日に延期となりましたが、1・3学年の各クラスがこの日のために心をひとつにして練習した課題曲と自由曲の2曲を披露しました。結果は以下の通りです。

- ベストコンダクター賞：3年1組 小林力
- ベストピアニスト賞：3年2組 橋本果怜
- 1年課題曲賞：1年1組
- 1年自由曲賞：1年2組
- 3年課題曲賞：3年3組
- 3年自由曲賞：3年2組・3組

2年生(15日 本校講堂で実施)
 ●課題曲賞：1組
 ●自由曲賞：1組
 ●ベストコンダクター賞：1組 西脇美海
 ●ベストピアニスト賞：2組 樋口葉奈

高校2年合唱コンクール



3月4日(土)、本校講堂にて高校2年生音楽選択者による合唱コンクールが行われました。課題曲「虹」(森山 直太朗)と自由曲の2曲が披露され、講堂に力強く美しいハーモニーが響き渡りました。結果は以下の通りです。

- 金賞：7・8組
- 銀賞：5・6組
- 銅賞：3・4組
- ベストコンダクター賞：7組 松田 知佳
- ベストピアニスト賞：10組 長村 玲奈